



77. サラガイ *Megangulus venulosus* (Schrenck) 図版31

英名 northern great tellin

シルコワータヤ ヘルニディヤ

露名 жилковатая пернидия

地方名(北海道) シロガイ、シロカイ、ジョロウガイ、マサガイ

漢字 皿貝、白貝、女郎貝

アイヌ語名 アマメセエイ、カピウセイ

【形態】 殻は前後に長い楕円形で厚く、膨らみは弱い。殻の前縁は丸く、後縁は短くて裁断状となる。殻頂*の下には主歯*と前後側歯*がある。殻表には低い成長脈*が刻まれるが、後方部は滑らかである。殻表は光沢のある白色、殻の内面は白色から橙色である。套線*の湾入はやや深く、楕円形である。足部は、黄色から黄褐色である。

近縁種にアラスジサラガイ *Megangulus zyonoensis* とベニサラガイ *M. luteus* がある。アラスジサラガイは、サラガイやベニサラガイに比較して殻が細長く、大型になる。また、アラスジサラガイの殻表には、高い成長脈が密に刻まれる。ベニサラガイは、サラガイやアラスジサラガイに比べて殻が薄く、殻表が殻皮*に覆われ滑らかである。

【生態】 太平洋側では千葉県銚子以北、日本海側では鳥取県以北の本州、

北海道、朝鮮半島、沿海地方およびサハリン沿岸の潮間帯*から水深20mまでの海底に分布し、河川水の流入が少ない砂泥底に潜って生息する。アラスジサラガイは、サラガイよりもやや深い所に分布する。

産卵期は、小樽市ぜにばこ銭函では6～7月、苫小牧市とまこまいと静内町しずないでは7～9月、知内町では9～10月である。受精後、浮遊幼生*期を経て底生生活に移るが、浮遊期間の日数などは不明。

成長はほかの二枚貝類と比べて遅い。知内町では1歳で殻長*1.3cm、3歳で3.6cm、5歳で5.3cm、10歳で7.9cm、15歳で9.3cmになる。雄は6歳前後、雌は8歳前後で性成熟*する。寿命は20年以上とされる。

ウバガイやバカガイと同様に、入水管*を海底上に伸ばして海水を吸い込んで呼吸するとともに餌をとる。海底直上を浮遊する植物プランクトンやデトリタス*を餌とするほか、海底上に堆積たいしたデトリタスも入水管をはわせて摂取する。主な外敵生物は、ヒトデ類とタマガイ類*である。